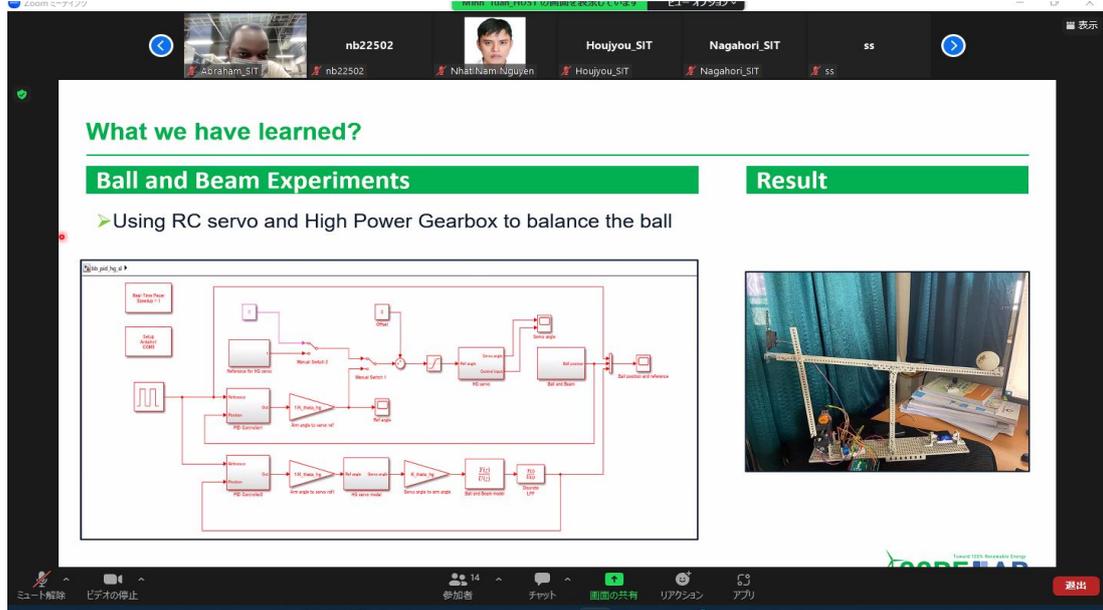


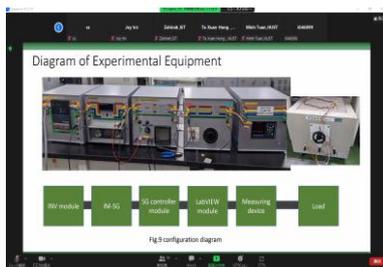
ハノイ理工科大学・ホーチミン市立工科大学・バンドン工科大学・泰日工業大学オンライン電カシステムgPBL

実施期間	実施国	共同実施機関	対象	参加者	本学担当教員
2022年10月10日 ～2022年12月12日	日本	ハノイ理工科大学 ホーチミン市立工科大学 バンドン工科大学 泰日工業大学	・電気工学科、応用化学科、 応用化学科、材料工学科、 材料工学科、機械機能工学科 ・学部3年生、学部4年生	(芝浦工業大学) 学生5名、学生バイト2名、 教員2名 (ハノイ理工科大学) 学生3名、教員1名 (ホーチミン市立工科大学) 学生2名、教員2名 (バンドン工科大学) 学生1名、教員2名 (泰日工業大学) 学生2名、教員2名	藤田 吾郎(電気工学科)



制御工学

協定校との持続的連携を維持する手段も兼ねて、HUST（ベトナム・ハノイ理工科大学）、HCMUT（ベトナム・ホーチミン市立工科大学）、ITB（インドネシア・バンドン工科大学）、AIT（タイ・泰日工業大学）とのオンライン形のgPBLを2022年10～12月に実施した。計9回のワークショップを開催して、前半は制御工学の学習、後半は本学にある同期発電機実験装置を用いて、良い応答特性を実現する制御系構築の実習を合同で行った。なお、今回は4回目の実施となる。元々はコロナ禍において海外派遣インターンシップ形のgPBLが実施困難であるための開催であったが、恒例開催に移行しつつある。



実験機器



参加者



実験風景(過去の参考)